



# 超我の奉仕

国際ロータリー第2800地区

## 鶴岡ロータリークラブ

例会日：毎週火曜日 午後 12:30～1:30

例会場：鶴岡市錦町 東京第一ホテル鶴岡

事務局：鶴岡市馬場町11-63(産業会館3F) TEL 0235-28-3375

第2318回 例会会報 平成18年6月13日(火) 曇(本年度 第42回)

### 会長報告

加藤 功

ロータリークラブは、異業種の会員によって構成されています。その中には企業経営者として事業活動を行っている者が、多くいると思います。経済学では最も単純な経済主体は営利を追求する企業と消費充足を目的とする家計に分けられる。企業経営学では、企業経営の展開により所有と経営、経営と管理の機能分化が進展して、資本家と経営者、経営者と管理者などが自立した機能として生じてくることを想定している。

これらの範疇とは異なった概念として“企業家”について考えてみる。“企業家（起業者・起業家）”については、経済学者ヨセフ・アロイス・シュンペーター（1883-1950）が独創的な見解を出し、多くの学者、実業者、企業経営者や政策担当者・政治家に影響を及ぼしている。

彼は、著書『経済発展の理論』（1912）を公刊し、経済発展の歴史的動学の純粹理論を展開したものである。経済発展の中心的要因は、技術革新の主たる担い手である企業家という独創的経済主体の存在にあるとした。（「資本主義社会における経済的变化のメカニズムは、企業化の活動を軸として機能する」）さらに晩年の経済社会学的な著作では、資本主義の発展に伴って、経済発展が自動化（官僚化）され、独創的企業者の機能が無用化してゆき、資本主義の原動力が喪失され、「資本主義はその成功ゆえに滅んでゆく」という彼独特の資本主義崩壊論を展開している。換言すれば、資本主義市場経済社会は、創造的な企業の革新活動・新機軸・新結合によって発展するという経済発展を説いた。これらの見解について考えてみたいと（知るを楽しむ）思います。

資本主義市場経済社会体制における利益・利潤の源泉は、企業家とその革新活動にあるとし、その活動勢力の中心的役割は少数のエリート・企業家の

リーダーシップ（イニシアチブ）によって担われるといっている・プロレタリアートに変革の力があると主張するマルクスとは大きく違う点である。少数のエリート・企業家は、血統や社会的地位をいうのではなく、「知識と意志」によって選ばれる、大衆を引っ張っていくような歴史を作る人々のことである。一部のエリート・企業家が新しい産業を起こすなど稀少かつ困難な先導となり（創造的反応）、残りの数多くの経営者（労働者）が既存の事業の拡大など容易な追随をなす（適応的反応・単なる業主）という主張は、ベンチャー企業の創業者を含めて現代においても十分な説得力を持っていると思います。たとえば、日本の著名な農業経済学者・東畠精一は、著書『日本農業の展開構造』のなかで日本の農業者は企業家ではなく「単なる業主」である、と明言した。またシュンペーターは、アメリカにおける農業者の技量は農務省の策定した方法によって変革されてきたとすると、企業として行動したのは農務省である、とも言っている。

革新活動とは、いかなる活動か。経済発展は、生産手段である諸資源の「新結合」を通じて「非連続的」に表れる。こうした「新結合」を遂行することが「革新」（活動）である。「新結合」の内容として、5つの場合を挙げている。①新しい生産物（財貨）の生産または生産物（財貨）の新しい品質の創出と実現、②新しい生産方法の導入、③産業の新しい組織の創出、④新しい販売市場の開拓、⑤新しい買い付け先（市場）である。こうした「新結合」の遂行ないしは「革新」の担い手が「企業家」である。

企業家は、どのように捉えているであろうか。戦術と重複するところもあるが、企業家は、新結合の遂行を自らの機能とし、その遂行にあたって能動的因素となるような経済主体のことである。つまり新しい物を作り出す者である必要はなく、新しい事業を成し遂げる人物である。さらに言い換えれば、企業家は「経済変動のメカニズム（機構）の担い手」



みんなで止めよう温暖化

アイドリングストップ!!

会長 加藤 功  
幹事 富樫 松夫

であり、総意、権威、先見性に特徴づけられる。企業家は、「全く伝統も係累ももたず、あらゆる束縛を打破する真の原動力であり、自分の育った社会層や自分の参加する社会層の超個人的価値体系に対しまったく無縁のものである」と言っている。さらにまた、シュンペーターは、企業家の行動を適切に解釈する動機として、①私的帝国を建設しようとする夢想と意志②勝利者意志、利潤は成功の指標、③想像の喜び、企業家は変化と冒険とまさに困難そのもののために、経済に変化を与え、経済の中に猪突猛進する。商品生産物とリスクは、資本家や投資企業（銀行）が最終的に負担するとも言っている。

従って、企業家とは、単なる資本家・利子生活者、経営者・管理報酬者とは区別された存在であり、新結合を遂行することによって位置づけられ、資本主義課程が崩壊する際の一因となる重要な人物である。それは従来の経済理論で登場する利潤追求型の機械的合理的な経済人とは異なり、私的な王国を建設しようとする夢想や意志、勝利者意識、想像の喜びなどを持って、経済を新機軸へと導く水先案内人だからである。生身の人間を経済理論に組み込むことによって、その理論は生きた主体の背後にある非経済領域へのアプローチが可能となる。

シュンペーターの企業家理論は、経済学、経営学、経済史学、経営史学、社会学、心理学など多くの学問分野において展開されている。

さて、現代の資本主義市場経済社会は、あらゆる面において「制度疲労」に陥り、構造改革を必要とし、新しい経済社会を構想せざるを得なくなつて来ている。その構想の策定にあたつては、①地球環境への配慮②少子・高齢化の進展③高度情報化の進展などの要因が前提となる。これらの前提とグローバル時代において、科学技術想像立国の建設を標榜し、営利企業・非営利企業・政府セクターからなる新しい混合経済主体による資源循環型社会に転換するには、「創造的破壊」・「革新」活動が社会のさまざまな分野で不可欠になってきたと思います。とくに科学技術を駆使した知識主導型産業が注目される。そこでは単なる規模の経済性と違ったネットワーク分業による革新・創造的活動を展開しなければならない。いま、創造的活動を展開するためには、新しい企业文化・企業風土を形成し、それによって自立型人材（対・組織依存型人間）を排出する必要があると思います。

註：企业文化・風土形成の強調事項は、①個人の自立・自律、組織は個人の自由度を尊重する②異端・異質の容認、個人評価につなげる③失敗の許容、想

像への挑戦は常に失敗を伴う。失敗から学ぶことはきわめて重要である④自律を基礎にした連携である。

[資料 J.A. シュンペーター著、

清成忠男編訳『企業家とは何か』]

## 地球環境に優しいエコドライブ

社会奉仕理事 佐藤友行

本年度アイドリングストップを掲げて運動してまいりました。本日は標記DVDをご覧頂き、少しでもCO<sub>2</sub>排出をおさえられるようお願い致します。

## 委員会報告

### 出席委員会

本日の出席	前々回の出席
会員数 46人	出席率 47.73%
出席数 31人	修正出席数 28人
出席率 72.09%	確定出席率 65.12%

### ●マークアップされた方

阿蘇司朗君・藤川享胤君・樋渡美智子君  
本間喜美子君・本間昭吉君・石田 雄君  
加藤 功君・加藤恒介君・嶺岸禮三君  
真島吉也君・越智茂昭君・斎藤 昭君  
塙原初男君・佐藤孝子君・富樫松夫君  
富田喜美子君

### ●ゲスト 佐々木武夫 次年度ガバナー補佐（立川RC）

### ○年間皆出席者

14年 御橋義諦君	
4年 白幡憲一郎君・真島吉也君	
5月 100%以上出席者	
300%以上 藤川享胤君	
200%以上 塙原初男君	
175% 加藤 功君・丸山隆志君・真島吉也君	
斎藤 昭君・佐藤友行君・嶺岸禮三君	
150% 樋渡美智子君・本間喜美子君・富樫松夫君	
125% 阿蘇司朗君・秦 幸助君・石田 雄君	
越智茂昭君・佐々木咲彦君・佐藤孝子君	
100% 本間昭吉君・加藤恒介君・御橋義諦君	
白幡憲一郎君・富田喜美子君	

## スマイル

西川富美子君 4～6月、ロータリーの皆さんにはご利用いただきありがとうございます。

丸山隆志君 佐々木次期ガバナー補佐、次年度よろしくお願いします。

富樫松夫君 次期ガバナー補佐 佐々木さん、訪問御苦労さまです。